



京都外国語大学大学院公開講座

# 異文化圏

# における “復興”を 読み解く

2012年 **11月23日** (金・祝)  
15:00~18:00 1号館 171教室

参加費無料 定員150名

— どなたでも参加できます —

今年の日本の課題は東日本大震災からの「復興」です。日本は、第二次世界大戦の敗北による荒廃や阪神淡路大震災から復興を果たしました。それは物質的な復興のみならず、知的そして精神的な変化でもあったのではないかと思います。同様に、世界の様々な国と地域が大惨事から「復興」しています。その様子は、ニュース映像のみならず、様々な資料から読み取ることができます。そこで、今回の公開講座では、本学教授陣と大学院生の研究対象の関連からそれぞれの地域における「復興」を分析し、資料を読み解く面白さやそこから発展する学びについてお伝えしたいと考えています。

【講師】※アイウエオ順

清瀬 卓 (京都外国語大学教授) 「ベル・エポックのイタリア閨秀作家と震災孤児問題」

下村喜八 (京都外国語大学教授) 「旧西ドイツにおける復興と償い」

田中聖子 (京都外国語大学博士後期課程修了生) 「20世紀におけるスペイン復興に対するオルテガ・イ・ガセットの思索」

福田京一 (京都外国語大学教授) 「「復興」をキーワードにしてアメリカ文化を考える」

堀川 徹 (京都外国語大学教授) 「モンゴルの襲来とサマルカンドの復興」

【コーディネーター】

立岩礼子 (京都外国語大学教授)

■申し込み

当日参加も可能ですが定員に限りがありますので事前に「氏名・連絡先」を下記までお申し込みください。

■問い合わせ先

京都外国語大学国際言語平和研究所 〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6

TEL: 075-322-6054 FAX: 075-322-6245 E-mail: gengo@kufs.ac.jp

■主催 京都外国語大学大学院 ■共催 京都外国語大学国際言語平和研究所



京都外国語大学  
Kyoto University of Foreign Studies

